



「鯉のぼり」(5月末まで)  
みなとオアシス マリンパーク新居浜



## 3/9 県内で唯一の受賞です



瀬戸内のお土産No.1を決める「瀬戸内おみやげコンクール2019(菓子・スイーツ)」で、(有)永久堂の「紅まどんなタルト」が入賞を果たしました。県内事業者で唯一の受賞です。

タルトは2017年秋に販売開始。県産のはちみつや卵を使ったタルト生地、シロップ漬けた紅まどんなを盛り付けています。おいしさの秘けつは2度焼きすること。水分を飛ばしつつも、紅まどんなのジューシーさは残しました。

市役所で受賞報告をした同社の永易眞文社長は「お土産だけでなく、市民の皆さんにも食べてもらえれば嬉しい」と顔をほころばせました。

## 3/18 ものづくりマイスターとして



市内中小企業の高度な技術や製品を認定・支援する「第8回新居浜ものづくりブランド」および、地域のものづくり産業を支える人材を認定する「第4回新居浜ものづくりマイスター」認定式が市役所で開催されました。

今回認定されたのは、ものづくりブランドとして(有)大伸ステンレス、(株)タイワの2社と、マイスターとして、近藤託也さん、野上誠一さん、山本誠二さんの3人です。

これにより、ブランドの認定は計40社53製品・技術、マイスターの認定は計16人となりました。

## 3/25 全国大会での上位入賞を目指します



全日本バトントワーリング選手権大会(5/8～、神戸市)に出場する小中学生3人が市役所を訪れ、全国大会への出場報告を行いました。

出場するのは、東中2年の藤田莉緒さん、高津小4年の村上柚羽さんと近藤花春さんの3人。表現力や、バトンと体の一体感などが評価される「ダンストワール」部門での上位入賞を目指します。

藤田さんは「いい成績が残せるよう、本番までたくさん練習をして臨みたい」、初の全国舞台という村上さんは「最後まで楽しく踊り切りたい」、近藤さんは「目標はバトンを落とさず笑顔で踊ること」と、それぞれ意気込みを語りました。

## 4/7 大切にに使わせていただきます



市内のサッカーチーム(レベニロッソNC)と、チームを支援する製造業者で作る「えひめEX(イークロス)協同組合」の皆さんから、6,000枚の子ども用マスクが寄贈されました。

レベニロッソNC監督の源代さんは「チームで何か協力できないか?という思いから寄贈に至った」、協同組合代表の伊藤さんは「組合傘下企業より中国からマスクを輸入できるという話があり、市内小学校の入学式に間に合うよう寄贈したかった」とそれぞれの思いを語ってくれました。マスクは小学校の入学式で新一年生が使用したほか、今後の学校行事において大切にに使わせていただきます。